

# 木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト

## これからの高潮・洪水災害に備えるための住民意識調査

調査の趣旨（別紙をご覧ください）をご理解いただき、調査にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 【調査票へのご記入について】

- ・調査票へのご記入は、**原則として世帯主の方**にお願いします。  
(世帯主の方によるご回答が困難な場合は、ご家族のどなたにご回答いただいても結構です。)
- ・質問の回答は、**該当する選択肢の番号に○**をつけてください。
- ・( )には、**数字や具体的な内容**をご記入ください。
- ・矢印等で質問の進み方の案内がある場合は、**矢印等に従ってご回答**ください。
- ・回答のご記入は、ボールペン、鉛筆など、何を用いても構いません。

## 1. まずはじめに、あなたとお住まいについてお聞きします。

**問1** あなたの年齢、性別、職業、ご家族の人数をそれぞれお答えください。

- ①年齢(数字をご記入ください)…………… ( ) 才
- ②性別(1つに○をつけてください)…………… ( 1.男 2.女 )
- ③主な収入を得ている方(世帯主など)の職業(以下から1つに○をつけてください)
- |   |             |
|---|-------------|
| 1.会社員・会社役員(公務員、団体職員を含む)                 | 4.パート・アルバイト |
| 2.自営業主・家族従業者<br>(農林漁業・商工など、作家などの自由業を含む) | 5.無職        |
| 3.労働者派遣事業所の派遣社員                         | 6.その他( )    |
- ④あなたを含めた同居家族の人数(数字をご記入ください)…………… ( ) 人で暮らしている
- ⑤ご自身を含め、ご家族に避難に際して支援が必要な方はいらっしゃいますか？ ……( 1.いる 2.いない )  
下記にお答えください

※⑤で「1.いる」と回答した方にお聞きします。  
災害時において、避難に際して支援が必要な方を避難させることができますか？1つに○をつけてください。

- |                      |                            |                     |          |
|----------------------|----------------------------|---------------------|----------|
| 1. 家族の支援だけで<br>避難できる | 2. 家族以外の支援が<br>得られるため避難できる | 3. 現状では避難は<br>困難である | 4. わからない |
|----------------------|----------------------------|---------------------|----------|

**問2** あなたのお住まいについてお答えください。

(1)あなたのお住まいの郵便番号、または地区名のどちらかをご記入ください。

〒    -    ( 愛西市 )

(2)あなたのお住まいの構造として、あてはまる番号1つに○をつけ、集合住宅は( )に数字をご記入ください。

1. 一戸建て …… ( 1. 平屋建て 2. 二階建て 3. 三階建て以上 )
2. 集合住宅(アパート・マンションなど) …… ( ) 階建ての ( ) 階に住んでいる

(3)あなたのお住まいはどのような構造ですか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 木造 2. 鉄筋コンクリート造 3. 鉄骨造 4. その他 ( )

(4)あなたは、お住まいの地区におよそ何年間住んでいますか？ ( )に年数をご記入ください。

およそ( )年間住んでいる

**問3** 1959年(昭和34年)伊勢湾台風の経験についてお聞きします。

(1)あなたは、伊勢湾台風を経験しましたか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 経験し、被害を受けた 2. 経験したが、被害は受けなかった 3. 経験していない

(2)あなたのご家族の中では、伊勢湾台風を経験した方はいますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 経験した家族がいる 2. 経験した家族はいない

## 2. 高潮・洪水災害時の避難行動などについてお聞きします。

問4

伊勢湾台風またはそれ以上の台風が、お住まいの市町村に被害を及ぼすような経路で襲来した場合を想定して、次の間にお答えください。

はじめに、以下の **状況** をご確認ください



(1)どのような状況のときに「**被害軽減のための行動(家屋の補強、家財を2階に上げるなど)**」を開始しますか？  
 あてはまる番号1つに○をつけ、1に○の場合は上記の【状況1～10】から1つ選び( )に数字をご記入ください。

- 1.状況( )のときに「被害軽減のための行動」を開始すると思う  
 (1-1)をお答えください
- 2.「被害軽減のための行動」はとらないと思う

(1-1)「**被害軽減のための行動**」にどの程度の時間がかかりますか？  
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア.1時間程度    イ.3時間程度    ウ.6時間程度    エ.半日程度    オ.1日程度    カ.2日以上

(2)台風が襲来し、【状況1～10】のようになったとき、あなたは**自宅以外の場所へ避難する**と思いますか？  
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.自宅以外の場所へ避難すると思う  
 (2-1)～(2-3)をお答えください
- 2.自宅以外の場所へは避難しないと思う

(2-1)どのような状況になったら「**自宅以外の場所へ避難する**」ことを決意すると思いますか？  
 上記の【状況1～10】から1つ選び( )に数字をご記入ください

状況( )のときに避難を決意すると思う

(2-2)「**避難を決意する**」状況になった場合、避難の準備(避難所に持っていくものの準備など)を終え、**自宅を出るまで**にどの程度の時間がかかりますか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア.すぐに出られる(準備済み)    イ.30分程度    ウ.1時間程度    エ.2時間程度    オ.3時間以上

(2-3)「**被害軽減のための行動**」を実施している途中で「**避難を決意する**」状況になった場合、どのような行動をとると思いますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください

- 「被害軽減のための行動」を全て終わらせてから避難すると思う
- 「被害軽減のための行動」を少なくとも半分ぐらい終わらせてから、避難すると思う
- 「被害軽減のための行動」の進捗(しんちょく)とは無関係に、作業を直ぐに中止して避難すると思う

(3)2ページで示す【状況1～10】に加えて、ご近所から避難の勧誘(お誘い)があった場合、「自宅以外の場所へ避難する」ことを決意すると思いますか？  
 あてはまる番号1つに○をつけ、2に○の場合は、【状況1～10】から1つ選び( )に数字をご記入ください。

1. 状況に関わらず、避難の勧誘を受けた時点で避難すると思う
2. 状況 ( ) 以降の時に勧誘があれば避難をすると思う
3. 避難の勧誘の有無とは無関係に、自分で判断した状況で避難すると思う

(4)仮に、自宅以外の場所に避難する場合、どのような場所や施設等へ避難すると思いますか？  
 もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                |            |
|------------------|----------------|------------|
| 1.市町村で指定されている避難所 | 4.友人・知人宅       | 7.その他の高層建物 |
| 2.ホテル・旅館などの民間施設  | 5.勤務(通学)先や関連施設 | 8.高台や堤防    |
| 3.別宅・親戚宅         | 6.自宅がある集合住宅の上階 | 9.その他( )   |

(5) 前問(4)で選択した場所や施設等は、どの地域に該当しますか？ 以下の1～5より、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |               |               |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1.愛西市内        | 2.愛知県内(愛西市以外) | 3.岐阜県方面       | 4.三重県方面       | 5.その他         |
| (5-1)をお答えください | (5-1)をお答えください | (5-1)をお答えください | (5-1)をお答えください | (5-1)をお答えください |

(5-1) 具体の地区・市町村を以下から1つ選び、○をつけてください。  
 「その他」の場合は、( )に具体の地区名、市町村名をご記入ください。

- |              |              |                     |                     |                        |
|--------------|--------------|---------------------|---------------------|------------------------|
| 1.佐屋地区       | 1.弥富市        | 1.海津市(養老線より西側にある高台) | 1.桑名市(養老線より西側にある高台) | 具体の市町村名をお書きください<br>( ) |
| 2.八開地区       | 2.津島市        | 2.海津市(1以外)          | 2.桑名市長島町            |                        |
| 3.佐織地区       | 3.名古屋市       | 3.羽島市               | 3.桑名市(1,2以外)        |                        |
| 4.立田地区       | 4.稲沢市        | 4.大垣市               | 4.木曾岬町              |                        |
| 5.その他<br>( ) | 5.一宮市        | 5.岐阜市               | 5.東員町               |                        |
|              | 6.蟹江町        | 6.その他<br>( )        | 6.いなべ市              |                        |
|              | 7.飛島村        |                     | 7.四日市市              |                        |
|              | 8.その他<br>( ) |                     | 8.その他<br>( )        |                        |

(6) 前問(5)で選択した場所にはどのような手段で移動しますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.徒歩 2.自転車 3.バイク 4.自動車 5.鉄道 6.バス 7.タクシー 8.その他( )

**問5** お住まいの市町村から避難情報等が発表された場合の情報の伝達状況についてお聞きます。

(1)雨が降っていて窓を閉め切っている状態で、ご自宅から屋外にある防災スピーカーからの音声の内容を把握することができますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |               |               |                    |                 |
|---------------|---------------|--------------------|-----------------|
| 1.把握することができます | 2.把握することはできない | 3.確認したことがないのでわからない | 4.近くに防災スピーカーがない |
|---------------|---------------|--------------------|-----------------|

(2)広報車による情報の伝達が行われた場合、ご自宅内から伝達内容を把握することができますか？  
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.把握することができる 2.把握することはできない

## 東北地方太平洋沖地震は、「なんとしても人命を守る」ためには何をすべきか考える契機となりました。

平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う大津波により、東北地方の太平洋沿岸地域では甚大な被害が発生し、時として荒ぶる自然の猛威を思い知らされました。この震災を受け、「災害には上限がない」ことを教訓に、「なんとしても人命を守る」という考え方のもと、ハード施策、ソフト施策の両面から減災を目指しているところです。



仙台市宮城野区へ襲来する大津波  
出典：宮城県 仙台市

## 異常気象による災害も例外ではありません。

その一方で、気象災害に目を向けてみると、勢力の強い台風や集中豪雨による水害等が各地で発生しています。平成27年9月の関東・東北豪雨では、鬼怒川流域に約半日にわたって豪雨がもたらされ、それによる洪水で堤防が決壊し、深刻な浸水被害が発生しました。近年、地球温暖化等に伴い、雨の降り方が局地化、集中化してきているなか、今後さらなる水災害の頻発化、激甚化により、これまで経験したことのない大規模水害の発生が懸念されます。

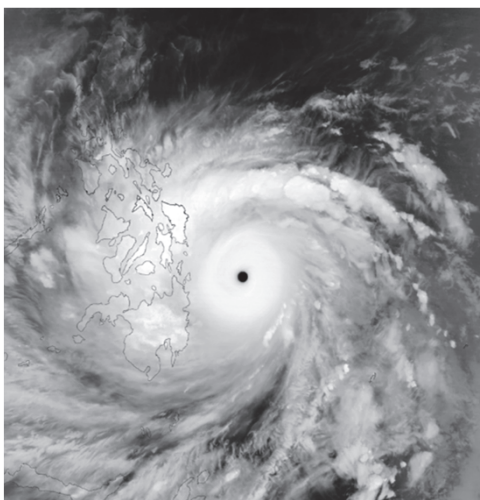


平成27年9月関東・東北豪雨  
(常総市上空より撮影)

写真提供：国土交通省関東地方整備局

## 木曾三川下流部も他人事ではありません。

木曾三川下流部は、木曾三川（木曾川・長良川・揖斐川）が伊勢湾へ注ぐ最下流部に位置し、日本最大のゼロメートル地帯を有することから、高潮・洪水の危険性が高い地域であるといえます。加えて、近年の気象状況の変化をみると、伊勢湾台風の再来あるいはそれを超える巨大台風の襲来、それに伴う高潮、集中豪雨により引き起こされる洪水の発生は、単なる絵空事とは言い切れない状況になっています。



2013年台風30号のNASAによる衛星画像  
(フィリピン上陸時895hPa)写真提供：NASA

## ◎激甚化する大規模水害に備えるために…

東北地方太平洋沖地震、そして近年の異常気象による風水害をふまえ、国土交通省では各地の河川を対象として、想定し得る最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図を作成しています。

5ページで示す図は、木曾川で527mm/2日という、河川整備の将来目標（295mm/2日）を上回る、想定し得る最大規模の降雨を想定し、仮に木曾川左岸21.0km地点、あるいは木曾川右岸13.6km地点で堤防が決壊した場合（上流からの越水を含む）の浸水想定区域を示したものです。また、国土交通省中部地方整備局では、伊勢湾台風の規模を超える台風（スーパー伊勢湾台風）の襲来とそれによる高潮の発生を想定し、危機管理対応について検討しているところです。

こうした大規模水害に備えるべく、木曾三川下流部では、「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」を立ちあげ、広域避難をはじめとする広域防災のあり方を検討しているところです。

# 洪水

想定し得る最大規模の降雨に伴い発生した洪水により、木曾川のある1地点が決壊した場合（上流からの越水を含む）の浸水状況をシミュレーションにより予測した図\*です。

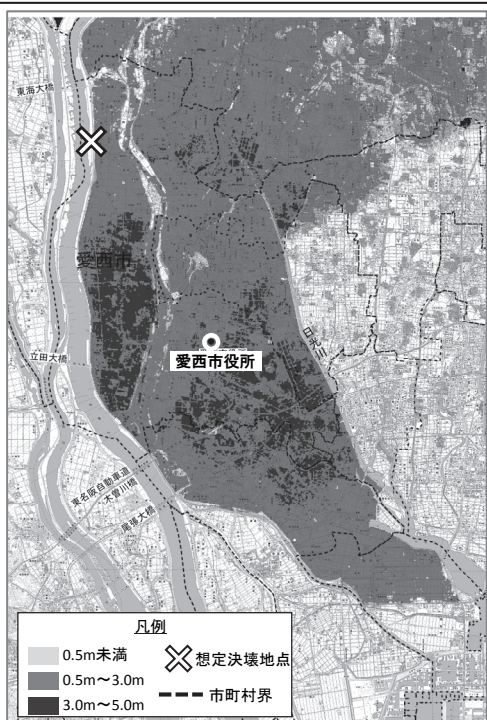
注）木曾川以外の河川からの浸水は考慮していません。

## 広大な浸水範囲と深い浸水

## 長期化する浸水期間



木曾川右岸13.6km地点  
決壊(15時間後)



木曾川左岸21.0km地点決壊(26時間後)

愛西市内では、1週間から2週間にわたり浸水が継続することが想定されています。

想定し得る最大規模の降雨により、大規模な洪水災害が発生した場合には、広大な浸水範囲と深い浸水が想定されることに加え、浸水の長期化が懸念されます。そのため浸水域内の避難場所等に避難した場合でも、長い間浸水域内で孤立し、非常に不自由な生活をしいられることになります。

ライフラインが止まった環境で長期間孤立する可能性があります！



**新たな洪水浸水想定区域図**が平成28年12月に公表されました。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

防災と暮らし →

浸水想定区域図の参照先: <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/shinsuisoutei/index.html>

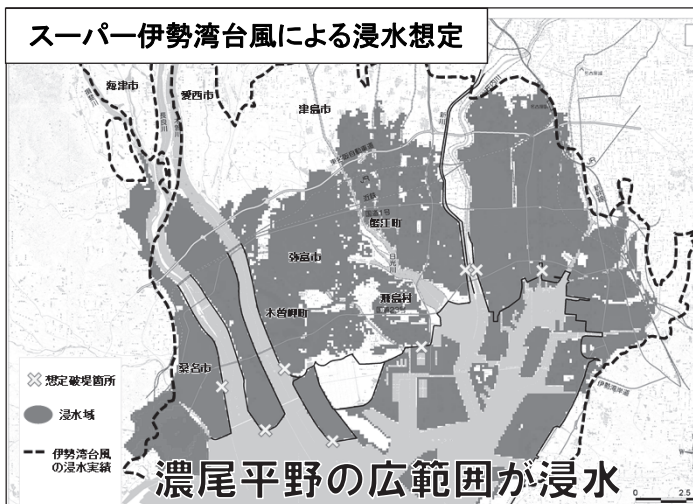
※この図は、ある1地点の堤防が決壊したケースのシミュレーション結果です。現在、公表されている洪水浸水想定区域図は複数の決壊地点のシミュレーション結果を重ね合わせて作図されており、この図の浸水状況とは異なります。

# 高潮

巨大台風による高潮が発生した場合の浸水状況についても公表されています。

地球温暖化に伴い、伊勢湾台風の規模を超える台風(スーパー伊勢湾台風\*)の襲来が懸念されています。想定によると濃尾平野の広範囲が浸水し、浸水深は木曾三川下流部の深いところで、4.0m以上の浸水になるところもあります。浸水継続時間も上記の洪水と同様に、長期間に及ぶことが予想されます。

※スーパー伊勢湾台風とは、過去に日本を襲った既往最大の台風である室戸台風(上陸時910hPa)級が東海地方の低平地に最も大きな被害をもたらすコースをとった場合を想定した台風です。



詳しくは、下記ホームページを御覧ください。

国土交通省中部地方整備局 東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会

参照先: [http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/tokai\\_nederland/](http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/tokai_nederland/)

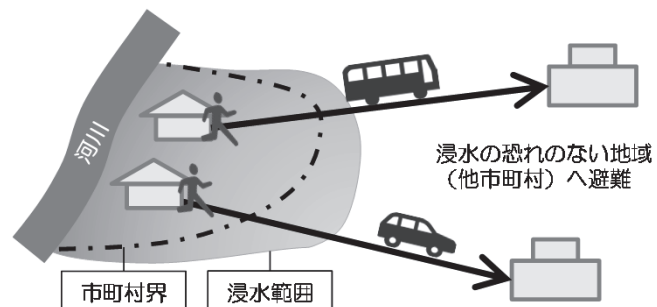
### 3. 高潮・洪水災害時の広域避難に関するあなたの考えについてお聞きします。

5ページでご覧頂いたように、木曾三川下流部の低平地で高潮・洪水災害が発生した場合には、浸水範囲が広範囲におよび、かつ浸水が長期化すると想定されます。また、浸水によって避難できる場所が限られるほか、たとえ高い建物などに一時的に避難したとしても、浸水が長期間におよび、膨大な救助者の発生によって救助活動が困難となり、長期にわたって浸水域で孤立する恐れがあります。

このため、大規模水害時において確実に身の安全を確保するためにも、**広域避難**を基本とした避難対応が求められます。

#### 広域避難とは…

浸水の恐れのない地域(他市町村)など、お住まいの地域から離れて、遠方の地域に避難することです。



【広域避難のイメージ図】

こうした大規模水害に備えるべく、木曾三川下流部では、国と自治体が連携して広域避難をはじめとする広域防災のあり方を検討しているところです。

そこで、広域避難に関する皆さまの率直なお考え、ご意見をお聞かせください。

問6

あなたは、お住まいの地域における高潮災害や洪水災害について、考えたことはありますか？  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 考えたことはある                      2. 考えたことはない

(1)をお答えください

(1)あなたは、お住まいの地域における高潮災害や洪水災害について、重要な問題として考えていますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 重要な問題として考えている      2. 重要な問題として少しは考えている      3. 重要な問題としてはあまり考えていない      4. 重要な問題としては考えていない

問7

あなたは、近い将来において、5ページで示される図のような高潮災害や洪水災害が発生する可能性をどのように思いますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 発生する可能性は極めて高いと思う      2. 可能性は高いと思う      3. どちらともいえない      4. 可能性は低いと思う      5. 発生する可能性は極めて低いと思う

問8

高潮災害や洪水災害により、あなたのご自宅周辺が浸水し外出できない状況で、かつ水道、電気、ガスなどのライフラインの供給が停止してしまった場合、あなたはどれくらいの期間、自宅内での待避をつづけることができると思いますか？ あてはまる記号[A~K]の1つに○をつけてください。

- ア. 自宅内での待避は無理だと思う      イ. 半日程度      ウ. 1日程度      エ. 2日程度      オ. 3日程度      カ. 5日程度      キ. 1週間程度      ク. それ以上

問9

あなたは、高潮・洪水災害時の広域避難について、考えたことはありますか？  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 考えたことはある                      2. 考えたことはない

(1)をお答えください

(1)あなたは、高潮・洪水災害時の広域避難について、重要な問題として考えていますか？  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 重要な問題として考えている      2. 重要な問題として少しは考えている      3. 重要な問題としてはあまり考えていない      4. 重要な問題としては考えていない

問10

仮に、お住まいの市町村から浸水の恐れのない地域(他市町村)への広域避難の呼びかけ(広域避難勧告等)があった場合、あなたはどのような行動をとりますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.呼びかけに従い、住んでいる市町村以外の地域へ避難すると思う
- 2.住んでいる市町村以外には避難しないと思う

問11

浸水の恐れのない地域(他市町村)へ広域避難をする場合の避難場所や避難するための手段についてお聞きします。

(1)仮に、「浸水の恐れのない地域(他市町村)への広域避難の呼びかけ」はあったものの、具体の広域避難先が指定されなかった場合において、避難先として考えられる場所(頼れる場所)はありますか？ もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.別宅、親戚宅、友人・知人宅
- 2.勤務(通学)先や関連施設
- 3.民間施設(ホテル、お店など)
- 4.高台や堤防
- 5.その他( )
- 6.避難先として考えられる場所はない

(2)仮に、「浸水の恐れのない地域(他市町村)への広域避難の呼びかけ」があり、行政から具体の広域避難先(浸水の恐れのない地域(他の市町村)の避難場所)が指定された場合、あなたは指定された避難先へ避難すると思いますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.指定された広域避難先に避難すると思う
- 2.指定された広域避難先には避難しないと思う

(3)仮に、浸水の恐れのない地域(他市町村)へ広域避難をするとしたら、どのような手段で移動すると思いますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1.徒歩
- 2.自転車
- 3.バイク
- 4.自動車
- 5.鉄道
- 6.バス
- 7.タクシー
- 8.その他( )
- 9.移動手段がない

問12

あなたの広域避難に対する考えをお聞かせください。  
以下の項目それぞれについて、あてはまる番号[1.そう思う ~ 5.そう思わない]の1つに○をつけてください。

① 広域避難がためられる理由を示す次の意見について

そう思う ← どちらともいえない → そう思わない

自宅は浸水の危険性が小さいため、広域避難することに抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

住まいの市町村内にも浸水の危険性が小さいところがあるため、広域避難することに抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

仕事や学校があるため、広域避難することに抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

遠方まで移動する手段が無いため、広域避難に抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

家や家財から長く離れることが心配で、広域避難に抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

遠くまでの避難が困難な家族がいるため、広域避難に抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

住み慣れない地域に避難することに抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

異なる地域の人たちと避難をともにすることに抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

避難先の当てがないため、広域避難することに抵抗がある [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

その他、広域避難をためらう理由がありましたらご自由にお書きください。

② 広域避難を勧める情報について

そう思う ← どちらともいえない → そう思わない

大規模水害の可能性がある場合は、空振りに終わっても良いから、早めに広域避難を勧める情報を発表して欲しい [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

広域避難を勧める情報は、避難の余裕が少なくなるにしても、大規模水害の発生が確実になってから発表して欲しい [ 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ]

**問13** あなたは、お住まいの地域における広域避難対策として、どのようなことが重要とお考えですか？  
**重要だと思う対策の上位3つを選び、回答欄に番号をご記入ください。**

重要と思う対策の上位3つを選び、右の回答欄に番号をご記入ください。

1位( )	2位( )	3位( )
-------	-------	-------

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1.他の市町村への広域避難先の確保      | 7.逃げ遅れた場合の緊急避難先の確保     |
| 2.広域避難先までの経路の確保        | 8.広域避難に対する防災教育・意識啓発の実施 |
| 3.広域避難のための交通規制の実施      | 9.避難が困難な方への支援対策の実施     |
| 4.鉄道・バスなどの移動手段の確保      | 10.その他                 |
| 5.広域避難の開始タイミングや基準等の設定  | }                      |
| 6.広域避難に関わる広報・情報伝達体制の整備 |                        |

**問14** 高潮・洪水災害に対する木曾三川下流部での取り組み、大規模水害に関わる報道、災害への備えに関する以下の項目それぞれについて、あてはまる番号[1.はい 2.いいえ]のどちらかに○をつけてください。

- |   |                |
|---|----------------|
| 木曾三川下流部で、高潮・洪水災害や広域避難に関して検討していることを知っている                 | (1. はい 2. いいえ) |
| 木曾三川下流部の高潮・洪水災害に関する防災講演会や防災サミットなどのイベントに参加したことがある        | (1. はい 2. いいえ) |
| 木曾三川下流部の高潮・洪水災害を対象とした避難シミュレーション(動く高潮・洪水ハザードマップ)を見たことがある | (1. はい 2. いいえ) |
| 木曾三川下流部の高潮・洪水災害に対する防災の取り組み等に関する報道を見たことがある               | (1. はい 2. いいえ) |
| 伊勢湾台風をはじめとする、地域の過去の高潮・洪水災害や災害に関する歴史などについて、話を聞いたことがある    | (1. はい 2. いいえ) |
| 大規模水害に関する特集番組や記事などを見たことがある                              | (1. はい 2. いいえ) |
| 家族で高潮・洪水災害時の避難について話をしたことがある                             | (1. はい 2. いいえ) |
| 家族で高潮・洪水災害時の避難先や避難のタイミング、家族が落ち合う場所などを決めている              | (1. はい 2. いいえ) |
| 住んでいる地域のハザードマップを確認したことがある                               | (1. はい 2. いいえ) |
| 家を石垣や土盛りなどで高くしている                                       | (1. はい 2. いいえ) |
| 自宅の1階部分は駐車場等のスペースで居住空間としては利用していない                       | (1. はい 2. いいえ) |

**問15** あなたの世帯では、災害の発生に備えて、水や食料の備蓄を行っていますか？  
 あてはまる記号[ア～オ]の1つに○をつけてください。

- |                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| ア. 2週間程度、あるいはそれ以上生活できるだけの備えをしている | エ. 3日間分まではないが備えをしている |
| イ. 1週間程度、生活できるだけの備えをしている         | オ. ほとんど備えをしていない      |
| ウ. 3日間程度、生活できるだけの備えをしている         |                      |

**4.地域の防災やこれからの取組に関してご意見がございましたら自由にお書きください。**

質問は以上です。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
 ご記入頂いた調査票は、お手数でも同封の返信用封筒(切手不要)で**2月28日(火)**までに投函してください。

※返信用封筒の宛先にあります「株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所」は、今回の取り組みに係る業務の委託先で、調査のとりまとめなどの作業を依頼しているところです。